

平成 24 年 7 月 31 日
沖縄電力株式会社

「環境行動レポート 2012」の発行について

このたび、当社は 2011 年度の当社およびグループ会社における環境行動の取り組み状況をまとめた「環境行動レポート 2012」を発行しました。

当社は環境問題を経営の最重要課題の一つとして位置付け、「沖電グループ環境方針」のもと、「環境管理の充実」、「地域環境保全の推進」、「地球環境対策の推進」、「循環型社会形成の推進」、「環境コミュニケーションの推進」を 5 つの柱として、さまざまな環境活動に取り組んでいます。

「環境行動レポート」は、こうした取り組みを皆さまにご理解いただくために 1996 年から毎年発行しており、今回で 17 回目の発行となります。

作成にあたっては、環境省「環境報告ガイドライン（2012 年版）」を参考に、沖電グループ環境方針に掲げた 5 つの項目に沿った構成とし、CO₂ 排出低減などの環境面へ配慮した吉の浦火力発電所の建設、再生可能エネルギー利用拡大などの地球温暖化対策や産業廃棄物の 3R（Reduce：発生抑制、Reuse：再使用、Recycle：再生利用）の推進強化など、2011 年度の環境活動についてわかりやすく紹介しています。

また、本レポートの客観性、信頼性を高めるため「第三者からのご意見」を掲載するとともに、「環境報告ガイドラインとの対照表」を掲載しています。

当社は沖縄県のライフラインを担う事業者として、これからも良質な電気の安定供給に努めるとともに、地球環境との調和をめざして低炭素社会実現に向けた取り組み、ならびに地域環境の保全および循環型社会形成へ向けた環境負荷低減の取り組みを積極的に展開していきます。

概要については、添付資料をご覧ください。

【添付資料】「環境行動レポート 2012」の概要

また、レポートの内容については、当社ホームページ

(<http://www.okiden.co.jp/corporate/eco/>)に掲載しております。

以 上

「環境行動レポート 2012」の概要

■主な掲載内容

【トップメッセージ等】(P2～7)

会社の紹介として、トップメッセージ、発電所と主な流通設備、業績概要などを掲載しています。

【2011年度ハイライト】(P8～9)

2011年度沖電グループの環境に関連した主なニュースとして、「安部大規模太陽光発電設備の運転開始」や「宮古島メガソーラー実証研究設備 見学者 2,500人突破」、「吉の浦火力発電所の運転開始に向けた取り組み」の3項目をハイライト記事として掲載しています。

【I. 環境管理の充実】(P10～19)

さまざまな環境活動を推進するために制定している沖電グループ環境方針、それに基づき取り組んでいる環境目標と実績、環境マネジメントシステムの取り組み状況、環境関連法規制などの遵守状況などを掲載しています。

【II. 地域環境保全の推進】(P20～27)

発電所の建設にあたり実施する環境アセスメントの概要、発電所周辺環境への影響を監視するために実施する環境モニタリング調査の概要、発電所における環境保全対策の概要、環境に調和した施設づくりの概要などを掲載しています。

【III. 地球環境対策の推進】(P28～39)

低炭素社会実現のための地球温暖化対策への取り組み状況、吉の浦火力発電所の建設、エネルギー利用の効率化、再生可能エネルギーの利用拡大、京都メカニズムの活用などを掲載しています。その他に省エネルギー活動の推進、家庭でできる地球温暖化対策などを掲載しています。

【IV. 循環型社会形成の推進】(P40～43)

発電所などから発生する産業廃棄物および一般廃棄物の発生抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再生利用（Recycle）の3R推進強化を掲載しています。

【V. 環境コミュニケーションの推進】(P44～50)

環境行動レポートによる情報開示および環境行動パネル展などによるお客さまとのコミュニケーション、環境教育支援活動の取り組み、地域社会との交流、沖電グループの環境行動の取り組みなどの社会側面に関する情報を掲載しています。

【第三者からのご意見】(P52)

「環境行動レポート 2012」に対する社外有識者による第三者意見を、琉球大学工学部教授の千住智信氏（工学博士）からご意見をいただき、掲載しています。

【その他・資料編】（P53～66）

「環境報告ガイドライン（2012年版）との対照表」、「環境を巡る歴史と沖縄電力のあゆみ」に加え、資料編として、環境活動に関するさまざまな「関連データ」や「用語の解説」を掲載しています。

■ その他

本レポートは、当社ホームページにも掲載し、当社のさまざまな環境活動をより多くの皆さまにご理解いただけるよう、コミュニケーションの充実を図ります。

また、本レポートの概要版として「環境行動レポート 2012 ダイジェスト版」を順次発行する予定です。

以 上